

平成26年度 第4回 函館市南茅部地域審議会会議録

開催日時	平成27年3月23日 月曜日 午後2時00分～午後3時10分
開催場所	函館市南茅部支所3階 多目的ホール
内 容	<p>報告事項</p> <p>(1) 諸般の報告</p> <p>(2) 函館市ホームページのアクセス件数について</p> <p>(3) 臼尻漁港臨港道路について</p> <p>(4) 平成27年度事業計画について</p> <p>(5) 平成27年度国および北海道の予定公共事業について</p> <p>議 題</p> <p>(1) 平成27年度地域審議会開催スケジュール(案)について</p> <p>地域振興全般に関する意見交換</p> <p>その他</p> <p>(1) 函館市生活交通ネットワーク計画について</p>
出席委員	<p>熊谷儀一委員 高谷委員 藤川委員 山下委員 坂井委員</p> <p>張磨委員 鎌田委員 佐藤委員 工藤委員 熊谷真理子委員</p> <p>(計10名)</p> <p>・報道関係 (計0社)</p> <p>・傍聴者 2名 (計2名)</p>
欠席委員	佐々木委員 中村委員 齊藤委員 野口委員 坂本委員 (計5名)
事務局の出席者の職氏名	<p>南茅部支所長 五十嵐陽子 企画部計画推進室計画調整課主査 川口洋</p> <p>同地域振興課長 西谷光一 同政策推進課主査 長谷山裕一</p> <p>同市民福祉課長 小枝精一 同政策推進課主任主事 江良規生</p> <p>同産業建設課長 川井敏彦 同計画調整課主事1級 江藤彰洋</p> <p>同地域振興課主査 飯田敏次 教育委員会生涯学習部参事 阿部千春</p> <p>同地域振興課主任主事 村上周平</p> <p>南茅部教育事務所長 田名部洋</p> <p>市立函館南茅部病院事務長 加我賢也 (計13名)</p>

1 開会（午後2時）

事務局 (西谷課長)	ただ今より、平成26年度第4回函館市南茅部地域審議会を開会します。
---------------	-----------------------------------

2 会長あいさつ

熊谷会長	<p><あいさつ要点></p> <p>皆さん年度末ということもございまして、それぞれご都合があったと思いますが、本日はご出席いただきまして大変ありがとうございます。</p> <p>本日の地域審議会でございますけれども、平成27年度を迎えるにあたりまして、事業計画につきましては、概ね例年どおりの事業が執行されるものと期待をしております。後ほど支所長からご説明をいただきます。市の事業のほかに国や北海道の予定公共事業について、平成27年度の地域審議会の開催スケジュール（案）について、その他で企画部から函館市生活交通ネットワーク計画についてご説明をいただくことになっています。皆さんからご意見等がありましたら遠慮なくご意見ご提言をいただきたいと思っております。皆さんの忌憚のないご意見を頂戴する。このことを期待申し上げまして開会にあたってのあいさつといたします。よろしくお願いいたします。</p>
------	---

3 支所長あいさつ

五十嵐支所長	<p><あいさつ要点></p> <p>皆様には、何かとお忙しい中ご出席をいただきまして心から感謝申し上げます。平成27年第1回市議会定例会が2月26日から3月16日までを会期に行われ、新年度の予算が決定されております。今年は市長の改選期にあたりますことから、行政運営の基本的な経費を中心とした、いわゆる骨格予算となっておりますが、現下の厳しい地域経済の状況、さらには市民サービスの確保などを総合的に検討し、緊急性や継続性のあるものは当初予算に計上するなど、函館の再生の流れを中断しないよう最大限配慮した内容となっております。本日の会議内容は熊谷会長のごあいさつにもありましたとおり、平成27年度の事業計画や地域審議会の開催スケジュールなどですが皆様の活発なご意見ご提言をお願いいたしましてごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
--------	--

4 出席委員の報告

事務局
(西谷課長)

出席者10人。欠席者5人。
出席者が過半数に達しておりますので、地域審議会の設置に関する規程第8条第3項の規定により会議が成立していることをご報告いたします。

5 報告事項

(1) 諸般の報告

熊谷会長

日程5の報告事項に入ります。
諸般の報告について支所長より報告をお願いします。

五十嵐支所長

それでは私から諸般の報告をさせていただきます。

1点目といたしましては、平成27年第1回市議会定例会が2月26日から3月16日までを会期に開催されました。南茅部地域に関連した質問の主なものといたしましては、市立函館南茅部病院の老朽化に伴う建て替えに関する質問が2名の議員からございました。病院局では、地域において唯一入院医療や救急医療を提供しており、今後もこの地域に入院病床を有し、夜間の急病対応ができる医療施設があることは望ましいが、人口減少や病床利用率などから医療機関としての将来のあり方について検討していくと答弁がありました。また、東部4支所管内の新たな観光資源の発掘について質問がございまして、新幹線開業を見据え、函館市の滞在型観光を充実させていくためにも、地域の魅力向上と情報発信に努めていくと答弁しております。

2点目といたしましては、市長と地域住民の懇談会が1月15日に恵山コミュニティセンターで開催されました。南茅部地域に関連した質問としては、縄文文化交流センター運営の指定管理者への移行に関する質問や垣ノ島遺跡の整備計画に関する質問のほか、国宝中空土偶が出土した著保内野遺跡の保存等に関する質問がございました。

3点目といたしましてはドクターヘリの運航でございます。今年2月16日から、道南ドクターヘリの運航が開始されております。開始前の1月27日には、当地域のランデブーポイント、離着陸場所の一つであります運動公園において搬送訓練が行われております。ドクターヘリは救急医療用の医療機器等を装備したヘリコプターで、救急医療の専門医と看護師等が同乗して現場に向かい、現場から医療機関に搬送するまでの間、患者に救急医療を行うことができることから、患者の救命率向上は言うまでもなく、早期治療により回復までの時間短縮や合併症の発生頻度の低下なども期待できます。健康で利用するようなことがないことが望ましいと思っておりますが、救急医療機関まで時間を要していた地域にとっては、安心な生活がより一層向上したことを皆様とともに喜びたいと思っております。

4点目といたしましては、新築保育園の着工でございます。尾札部・臼尻保育園の統合民営化に伴う新しい保育園が、今月から着工し平成28年4月の開園を目指しております。先週の17日に建設地で地鎮祭が行われ、私も参列させていただき、工事の安全祈願をいたしました。建物の老朽化や防災の観点からも高台への移転が望まれておりましたので、形が見えてくることに安心しております。

	<p>5点目といたしましては、中学校への寄附についてでございます。2月20日「函館平安システム」の金沢桃一会長から白尻中学校と尾札部中学校にピアノやプロジェクターなど多額となる寄附がありました。金沢会長は、安浦町のご出身で、白尻中学校の卒業生でもあり、また、戦後、尾札部地区で電気関係のご商売をされていたご縁から「お世話になった地元の方々への恩返しに」と個人として寄附されております。白尻中学校にはグランドピアノを1台、両中学校にプロジェクターや屋外イベント用テント、教材など合わせて36品目にもおよび、学校では既に第3学期からの授業に、そして3月13日の卒業式にも活用されております。また金沢会長からは、平成8年度にも、白尻小学校と磨光小学校にピアノを寄贈されており、児童生徒、PTAの皆様から大変喜ばれております。以上で私からの諸般の報告を終わります。</p>
熊谷会長	<p>報告が終わりましたので質疑に入ります。どなたかありませんか？</p>
高谷委員	<p>ドクターヘリについて、ランデブーポイント（離着陸場所）は何か所くらい設定しているのか？</p>
地域振興課 (西谷課長)	<p>すみません。数はわかりませんが、小・中学校のグラウンド、多目的グラウンドなどが現在指定になっております。今、このほかに冬場の対策として川汲霊園の駐車場を指定したいと考えております。</p>
熊谷真理子 委員	<p>冬はどうしても雪が降るが、1か所は常に除雪をしておくということになるのか？</p>
地域振興課 (西谷課長)	<p>ヘリが降りられる状態にしておくということで調整はしております。冬場を想定しますと、グラウンドに降りるのはなかなか難しいです。そういう時のために除雪のしやすいところで、消防から近いところが望ましいということもありますので、川汲霊園の駐車場を選定して作業を進めているところでございます。</p>
熊谷会長	<p>ほかに何かありませんか？</p> <p>(なし)</p> <p>なければですね、支所長から報告がございましたけれども、これに関連いたしまして、縄文文化交流センターの指定管理について、それから垣ノ島遺跡の今後の整備イメージについて、今後どのような形になるのか、それから国宝中空土偶の出土した著保内野遺跡について、市長との懇談会の時に質問がありましたが、教育委員会の考えについて市長の答弁が詳しくなかったものですから、阿部参事からその3点についてお答えいただければと思います。</p>

教育委員会
(阿部参事)

まず縄文文化交流センターの指定管理でございますが、平成25年の9月議会で提案しましたが、まだ支援団体である経済団体等との合意が得られていないということで、どういう形で指定管理にするのかというところを詰めてから進めるようにということでございましたので、教育委員会といたしましても経済界に説明をつくしているところでございます。だいたい条件も整ってまいりましたので、早期の指定管理を目指して今後取り組んでいくということでございます。

次に垣ノ島遺跡の整備についてですが、これは平成23年の2月に国の史跡に指定となりまして、その後用地の購入などを行いました。今現在、敷地面積約9万3千㎡ほどでございますが、史跡全体の公有化が済んでございます。現在、整備に向けた発掘調査をしております、平成27年度に発掘調査を行い、そして整備基本計画を立てていきます。この基本計画を政策会議にかけまして、了承されましたら次々と進んでいきますが、平成28年度は一部発掘調査と整備基本設計を立てる予定です。

この時にどういった整備をしていくかという概略が決まっていますので、大まかには平成27年度の基本計画、平成28年度の基本設計の中で、皆様にお示しできるようなパースのようなものができあがっていくと思っております。そして平成29年度に整備の実施設計にかかりまして、そこから一部整備を始め、平成31年度まで実施していくということでございます。

合併特例債を充当して実施していく事業でございますので、平成31年度までの整備を1つの目途としていきたいと思っております。大まかなイメージとしては、わかりやすくいうと三内丸山遺跡のような大規模な構造物を建てた史跡整備というのは、今世界遺産を目指していく中ではあまり好まれていないというかむしろマイナスの部分がありますので、縄文の雰囲気といいですか、特に垣ノ島遺跡は目に見えて長さが160m、高さが2mくらい大きなマウンド（盛土）がありますし、竪穴住居跡が表面から見えている状況でありますので、そういった雰囲気を楽しんでもらえる森づくりや散策路など、自然な形で整備をしていくように考えております。

著保内野遺跡につきましては、国宝になった段階で、土地を購入する予算の確保ができずに、現在に至っております。ステップとしては、まず市の史跡などの形で指定後に、購入していくということになるのかなと思っております。教育委員会としてはなんとか土地を確保していきたいと考えておりますけれども、国宝が出土したところで遺跡として残っているのは、日本では著保内野遺跡しかありません。ほかは工事などにより現存しておりません。

著保内野遺跡で出土した土偶は、ジャガイモを収穫する時に出土したものですから、工事に伴って出土したものではないので、文化庁としても大切に考えてくれています。何とかこの土地を確保したいという気持ちがありますが、予算的なこともありますので、皆様のお力も借りながら予算の確保に努めていきたいと考えております。以上でございます。

熊谷会長

まず、垣ノ島遺跡の整備イメージは平成31年度までの間にできあがるということか？

教育委員会 (阿部参事)	イメージは、平成27年度の基本計画で簡単なものができまして、平成28年度の基本設計で、ある程度具体的になっていくものです。
熊谷会長	垣ノ島遺跡の整備が平成31年度で完了するという事か？
教育委員会 (阿部参事)	そうです。平成31年度で完了し、公開に至るという形になると考えております。
熊谷会長	縄文文化交流センターの指定管理が民間に移行されるとすれば、垣ノ島遺跡の管理も指定管理という方向で教育委員会は考えているのか？
教育委員会 (阿部参事)	博物館の管理について指定管理ということは決まっておりますけれども、垣ノ島遺跡の管理というところまで一体になっているかどうかということとは、まだオーソライズされていません。ただ、大船遺跡については縄文文化交流センターと同じように管理委託でやっておりますので、効率的な事を考えれば、個人的な意見ですけれども、縄文文化交流センターを核として垣ノ島遺跡と大船遺跡を一体で管理していった方が、ツアーやイベントも非常にやりやすいと考えております。以上でございます。
熊谷会長	垣ノ島遺跡、縄文文化交流センター、著保内野遺跡についてですね、南茅部地域の人たちがそれぞれに深い思いがありますので、早急に皆さんに喜んでもらえる方向で教育委員会としても対処していただければと思います。ありがとうございます。

(2) 函館市ホームページのアクセス件数について

熊谷会長 函館市のホームページのアクセス件数について説明をお願いします。

地域振興課 (西谷課長) 前回の地域審議会におきまして、ご質問のありました内容でございます。函館ハーフマラソンはテレビで放映されていないが、ホームページでどのくらいの人が見ているのか知りたい。という趣旨のご質問でございました。函館ハーフマラソンのホームページは、函館マラソン大会実行委員会事務局が昨年5月に作成し、ご覧いただくことができるようになっております。この作成後から今年2月末までの10か月のアクセス件数になりますが、約9万件となっております。なお、参考までに、函館市のホームページのアクセス件数は、昨年4月から今年の2月までの11か月間で約685万件となっております。以上でございます。

熊谷会長 このことについては山下委員からですね。

山下委員 この前、私が質問したのはちょっと間違っていたみたいで、お年寄りがホームページを見る回数ほどのくらいあるのかということを知りたかった。函館市のホームページは世界中で見ると何十万、何百万と見るだろうけれども。今、ホームページをご覧くださいというのがありますが、あまりにも全部ホームページを見てくださいますというのでは不親切じゃないですか？と聞いた。

地域振興課 (西谷課長) 難しいご質問でございます。個人的な内容が多く含まれているものから、市のホームページを見た件数はわかりますが、ご質問されていたような件数までの分析はできません。山下委員のおっしゃることは、大概のものはホームページをご覧くださいというのがありますが、支所としてもその辺は配慮が必要なところだと思いますので、なるべく広報の中に折り込みをしてお知らせするなど心掛けています。本庁の管内の中では、全世帯に折り込むというのは難しいものがあるものから、そこはお答えしようのないところです。

山下委員 今、広報でもっとわかりやすく説明するとか広報に載せると言ってくればそれで良いと思う。最初からホームページをご覧くださいというのは、ない人は見られないということを私は言いたかった。今、きちんと詳しく載せると言ったことでそれで良いと思う。

熊谷会長 関連についてどなたかありませんか？

(なし)

ありませんので、質疑を終了します。

(3) 臼尻漁港臨港道路について

熊谷会長	臼尻漁港臨港道路について説明をお願いします。
産業建設課 (川井課長)	(資料1のとおり説明)
熊谷会長	このことについては高谷委員から何かございますか？
高谷委員	3番と4番の道路について下を通るといのはトンネルになるということか？
産業建設課 (川井課長)	すべてボックスカルバートにします。市道が下になるあるいは臨港道路が下と、ボックスカルバートで通すということになります。3番と4番が臨港道路が市道の下、2番が市道の上、ということでボックスカルバートで通すということになります。
熊谷会長	現在住居が建っているところに臨港道路がかかるというところはあるのか？
産業建設課 (川井課長)	2か所ございます。住居がかかるところというのが4番の市道のグラウンドの分かれ道の下、国道から上がってきまして右側に民家がございまして臨港道路のコースになります。それから、もう1つは買収しようとするところの付近になりますけれどもそこにも1軒ありまして、民家については2軒となります。例えば5番と6番の間は橋になりますのでこの辺の補償等については、今後開建の方で検討を加えながら進めていくということになります。
熊谷会長	目途として工事の着工まで何年くらいかかるのか？
産業建設課 (川井課長)	その辺は皆様も興味のあるところとございまして、うちの方でもいつ頃ということで今まで詰めてきております。埋蔵文化財調査だとか今進めている段階で、開建は何年度着工という目途を示せない状況とございます。とぎれとぎれになりますけれども用地買収なり埋蔵文化財調査を始めております。ただ当初の計画からいきますと、1番の方向から着手着工することで組合とも調整しておりますので、この辺が済み次第着工になるのかなと思っております。
熊谷会長	関連で質問ありませんか？
藤川委員	この臨港道路の着工について、国および北海道の予定公共事業の資料に豊崎から大船のバイパスがあるが、その予算とかかわりはあるのか？
産業建設課	藤川委員からバイパスの予算と臨港道路の予算との関係ということでお尋

<p>(川井課長)</p>	<p>ねだと思います。 バイパスにつきましては国土交通省の所管となります。臨港道路については漁港施設ということで水産庁の所管となります。予算は別々に組むこととなります。</p>
<p>藤川委員</p>	<p>わかりました。</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>ほかに何かありませんか？</p> <p>(なし)</p> <p>ありませんので、質疑を終了します。</p>
<p>(4) 平成27年度事業計画について</p>	
<p>熊谷会長</p>	<p>平成27年度事業計画について説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (西谷課長)</p>	<p>(資料2のとおり説明)</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>説明が終わりましたので、質疑に入ります。</p> <p>(なし)</p> <p>ありませんので、質疑を終了します。 事業については冒頭申し上げたとおり、骨格予算で前年度の予算を参考にしながら出していただいた金額ととらえております。最終的なものは市長選の終わった後に正確な金額が出てくると思っております。</p>
<p>(5) 平成27年度国および北海道の予定公共事業について</p>	
<p>熊谷会長</p>	<p>平成27年度国および北海道の予定公共事業について説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (西谷課長)</p>	<p>(資料3のとおり説明)</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>説明が終わりましたので、質疑に入ります。</p> <p>(なし)</p> <p>ありませんので、質疑を終了します。</p>

6 議 題

(1) 平成27年度地域審議会開催スケジュール(案)について

熊谷会長

日程6の議題でございます。

平成27年度地域審議会開催スケジュール(案)について説明をお願いします。

事務局

(資料4のとおり説明)

(西谷課長)

熊谷会長

説明が終わりましたので、質疑に入ります。

(なし)

ありませんので、質疑を終了します。

7 地域振興全般に関する意見交換

熊谷会長

日程7の地域振興全般に関する意見交換を行います。

このことについて、先般申し上げたとおり、地域の中でそれぞれ皆さんからお願いされたことや、気のついたことがございましたらここで述べていただければと思います。

高谷委員

最近新聞等で中学校と小学校の統廃合の記事を目にするが、南茅部地域ではどうなっているのかと、尾札部中学校が避難場所でなくなった関係で、もし統合という動きになるとやはり高台に移転することになるのかということを知りたい。

教育事務所
(田名部所長)

学校の統廃合の関係でございますけれども、直近の情勢ですが、今年の1月27日に文部科学省が、各都道府県に向けて「公立小・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を示しています。その内容は、小・中学校ともクラス替えができる1学年2学級以上の規模であるとか、徒歩などによる通学距離が小学校4km、中学校6km以内ということ、通学バスなどを確保した場合の通学時間は概ね1時間以内などの基準を明らかにしております。統廃合を促す内容になっています。

市内の状況では、平成24年3月に作成された「函館市立小・中学校再編計画」に沿って、再編計画の第1期では、グループ化した地域の内、第2グループの中学校を7校から3校に再編することが決定しています。稜雲・光成・的場中の3校を1校に的場中敷地に統合校を新築するという。五稜・大川・桐花中の3校を1校に桐花中敷地に五稜郭中学校という名称で新しく設置するという。港中は現状維持ということで決定しております。

第2期目の再編ですが、第1グループ中学校では、西・潮見・宇賀の浦中を潮見中の敷地に統合校にするという答申を得たところであり、また、第2グループの12小学校を7校程度に再編するという計画の検討を始めたところでもあります。

	<p>そして南茅部においては、小・中学校を各1校に統合する計画で「いつまでに統合する」という具体的な期限はありませんが、白尻中学校の耐震改修の必要性や尾札部中学校が津波避難所に適さないことなど、校舎の立地や老朽化等の課題もあることから、特に中学校での対応が急がれると認識しております。</p> <p>今後におきましては、すでに、教育委員会に対して、4月の各小・中学校のPTA総会での説明要請がきておりますので、再編計画等の説明を行い、保護者ならびに地域の意向や要望をお聞きしながら、南茅部での学校統合の協議を進めていきたいと考えております。</p> <p>次回の地域審議会におきまして、その進捗状況等を報告したいと考えております。以上です。</p>
高谷委員	<p>現状、中学校の生徒は部活を選べない状況で、生徒が少なくなっているの で、今の子供たちには悪いけど、将来のためにもこの計画は早急に進めた方 が良いと思う。</p>
熊谷会長	<p>教育委員会の方で取り計らいをお願いいたします。 ほかに何かありませんか？</p>
藤川委員	<p>諸般の報告でドクターヘリの話があったが、ドクターヘリは大変いいこと だが、それに伴う問題は南茅部病院の今後のあり方で、恵山での市長との話 し合いの中で、出席者から今後の南茅部病院のあり方について聞いたがはっ きりとした答弁を私は聞いていないが、これについて何か市立函館病院の方 とも打ち合わせしてこれから決めたいというような話があったようなので、 次回の地域審議会に市立函館病院の方を呼んで南茅部病院がどういうふうに なるのかとかそういうことを聞きたいと思うがそういう計らいはしてもらえ るのか？</p>
五十嵐支所長	<p>第1回の市議会でも2名の議員から建て替えについてのご質問がありまし て、病院局の管理部長から、国のガイドラインを策定中であるということも ありまして先ほどお話ししましたとおり、入院病床を有する夜間の急病対応 ができる医療施設があることが望ましいという答弁もありますし、将来のあ り方を検討していくという答弁もありました。議会の部分ですのでそこだけ のお話になっておりますから、今の藤川委員のお話をうかがいまして、病院 局の方に次回の地域審議会に現状の部分でご説明できるのところということで 私から依頼して招聘したいと思います。以上でございます。</p>
熊谷会長	<p>病院については支所長の方からもお答えありましたように、先般の議会でも も取り上げられていますし、南茅部地域に住む私たちとしても一番大事なこ とだと思っていますので、当事者の病院局の方から担当の方に来ていただい て、地域振興の項目になるかその他になるかその辺は調整して皆さんの意見 を聞きながら残してもらおう方向で病院局の方と話し合いをしたいと思っ ておりますので、その節は皆さん現在感じていることでもいいですから考えてきて</p>

	<p>いただければありがたいと思います。</p> <p>支所長，病院局と調整していただいて次回の地域審議会に出席いただくよう配慮をお願いします。</p>
五十嵐支所長	わかりました。
熊谷会長	ほかに何かありませんか？
熊谷真理子 委員	ふるさと納税について，娘が外に出ていて函館市はふるさと納税をしたら何をくれるのみたいな感じで，どうしてと聞いたら，ほかのところではお肉とかおいしいものがあるけどということで，調べてみたらと言ったら，函館何とか証明書みたいなものしか出ないということだった。そうなんだと，お母さんも後で調べておくわみたいなことを言ったが，函館市ではどういうふうにしているのかわかる範囲で教えていただきたい。
市民福祉課 (小枝課長)	私のわかる範囲でいえば熊谷委員のおっしゃるとおり，函館人証明書がですが，夕張市であれば1万5千円以上でメロン1玉とかありますが，たしか函館市はなかった気がします。この次までに調べさせてください。
熊谷真理子 委員	ふるさと納税の件数は，結構あるのか？
熊谷会長	<p>件数もあわせて，次回の報告をお願いします。</p> <p>今，新聞やテレビでふるさと納税について騒がれていますが，どうなんでしょうね。地域に住んでいる私たちについては関係あるものではないかもしれませんが，函館市以外に住んでいる人たちでふるさと納税したから何かいただきたいという思いが強いのかどうか。</p>
熊谷真理子 委員	新聞で少し目を通しただけなのであっているのかわからないが，仮に2万円をふるさと納税すると1万円相当のお肉なりなんなりで，あと1万円はその寄附したところの子供たちとか何かに利用させていただきますということをしちんとうたっていると新聞に書いてあったので，私もそれを読んだ時に，2万円をふるさと納税するとその1万円はその子供たちのために使ってもらえるんだな，だったら私も1万円のお肉をいただいてもその子どもたちに使ってもらえるのであればそれもいいかなと思った。娘を例にすると，ここだと石けんとか昆布しょうゆとか，食べ物と石けんとかは一緒にできないかもしれないけれども，そういうものを箱に詰めたら1万円でも5千円でもいいのになって，昆布とかあるのにそういうことをしないんだなって，外に出ているから住んでいた南茅部にこういうものがあるのになと思ったのだと思う。次回にどのような返答が返ってくるのかわからないが，もうちょっと利用する価値もあるのかなと思った。
熊谷会長	企画部から出席がありますので，もしよろしければ，関連でどのくらい言

<p>企画部 (川口主査)</p>	<p>えるかは別にしてもさしさわりのない程度に、ふるさと納税に対する基本的な考え方とある程度物品を還元することについてお答え願えればと思います。</p> <p>ふるさと納税の関係ですが、たしかホームページでは証明しか出ないという形になっていますが、特産品の送付をしていたような気がします。以前、ふるさと納税の推進の関係での議会で答弁を求められたことがありましたが、その時の財務部の答弁では、ふるさと納税の趣旨というのは、函館から出ていった人や函館にゆかりのある人が函館のことを思ってくださる寄附なので、過当にほかの自治体と競争して、この商品をあげるから寄附をしてくださいということにはならないと考えており、あまり大きく広報しておりませんということでした。しかしながら、今の時代、財政状況が厳しい状況にある中で、様々な市の事業に対して賛同してくれる方から寄附などをしていただけるのは確かにありがたいことでもありますので、どこまでできるかという部分と、趣旨という部分も含めてですね、また、ふるさと納税以外にも話題になっているのが、クラウドファンディングという資金集めの方法がありまして、それは市で実施する事業であったり、また、何か事業をしようとしている人に対して、賛同していただける方からクレジット会社や銀行などを通して寄附していただく仕組みのものであります。そういう意味ではこれから様々な事業を進める中ではそういった資金集めという言葉は悪いかもかもしれませんが、手法としては状況に応じていろいろ検討はしていきたいと思っています。よろしく願いいたします。</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>ありがとうございます。ふるさと納税の基本的な考え方というのは、川口主査がお答えしたように還元を求めるものではないわけですね。今後函館市としてふるさと納税について、どのような方向で、全国的にそういう傾向があるものですからそういう流れに沿っていくのか、函館市独自のものでいくのか、その辺も小枝課長に調べていただいて次回の地域審議会に報告していただきたいと思います。</p> <p>それよろしいですか？</p> <p>(異議なし)</p> <p>ほかに何かありませんか？</p> <p>(なし)</p> <p>ありませんので、意見交換を終了します。</p>

8 その他

(1) 函館市生活交通ネットワーク計画について

熊谷会長

日程8のその他でございます。

函館市生活交通ネットワーク計画について企画部の長谷山主査から説明をお願いします。

企画部

(長谷山主査)

(資料「函館市生活交通ネットワーク計画について」のとおり説明)

熊谷会長

皆さんから意見要望を聞く前に、長谷山主査の今の説明の中で、地域に入って地域の声を聞きながらこのことについて進めていくという話があったが、地域に入ってくるのはいつ頃からなのか？

企画部

(長谷山主査)

まずは、支所とじっくり話し合っていきながらですね、地域のことがわからない状態なものですから、どのような形で地域に入っていっていったらいいかということを含めて協議させていただきたいなと思っております。27年度からは入っていきたいと思いますが、具体的な月ですとか時期については、この場ではお話できないことを理解させていただきたいということですのでよろしくお願いいたします。

熊谷会長

今お答えいただいたことについて皆さんから要望や質問がありましたら受けたいと思います。

どなたかありませんか？

(なし)

先ほどの病院と同じで地域にとっては大事なものです。足がなくなると車を持っている若い人たちはいいんですけれども、高齢者の人たちはなかなかそういうふうにはいきません。今のお答えの中ではなくす方向ではないというお答えではありましたけれども、今後、減便になるのか、増便はまずありえないと、路線バスに変わるべくそういう交通体系になるのか、先はわかりませんが要望があれば地域審議会での意見としてお聞きしたいと思いますけれどもありませんか？

実際、南茅部病院の通院バスについてはすごく皆さんに喜ばれている。地域福祉バスは南茅部支所に2台ありますけれども、だいぶ古くなっていますからね、これをどのように考えていくのか。廃止して別のものに変えていくのか。

何かありませんか？

(なし)

要望はいっぱいあるとは思いますが細かいことについては、時期は未定ですが地域に入ってきた時に皆さんから意見をいただくということによ

	<p>ろしいですか？</p> <p>(異議なし)</p> <p>この件については何かあったら、次回の地域審議会でも質問などをしていただければと思います。</p> <p>それでは、ないようですのでこのことについては質疑を終了します。</p> <p>その他のその他で何かありませんか？</p> <p>(なし)</p> <p>事務局から何かありませんか？</p>
事務局 (西谷課長)	<p>ありません。</p>
熊谷会長	<p>次回は7月を予定してございます。極力用事は早めにすませて地域審議会への出席をお願いします。</p> <p>本日は、これもちまして閉会いたします。</p> <p>(午後3時10分 閉会)</p>